

関西支部シニア会活動報告

行事名	特徴ある技術を有する企業見学会
回次	第 18 回
開催日	2019 年 5 月 9 日 (木)
場所	音羽電機工業(株) : 尼崎市潮江 5-6-20
参加人数	29 名
行程	14 時 00 分 音羽電機工業(株) 雷テクノロジーセンター4 階会議室集合 14 時 15 分 会社概要説明 14 時 30 分 長谷川電機工業(株)の検電器製品説明 15 時 00 分 雷テクノロジーセンター 大電流試験設備、高電圧試験設備、雷ミュージアム 15 時 30 分 質疑応答、玄関で集合写真
感想	<p>1946 年の創業以来、強大な自然エネルギーの雷を探求し続ける日本で唯一の雷対策専門メーカー音羽電気工業(株)を見学した。雷に関する話題や雷被害があると、頻繁にマスコミで取り上げられている会社で、見学者も多いとのことでした。今回は雷テクノロジーセンター内ある雷の電流を模擬した 22 万 A のインパルス電流を流せる大電流試験設備、160 万 V のインパルス電圧をかけられる高電圧試験設備を見学し、技術的説明を受けた。昔は、雷⇒落雷⇒感電、火災の自然災害イメージから、電子機器の発展や IoT 化が進む現代社会では、雷が引き起すサージから機器を守ることが重要になっていると感じた。実際我々の一般家庭でも、雷の直撃を受けなくても数 km 離れた落雷で、電子機器に不具合が生じていることが多々ある。今後車の自動運転や電子取引など大規模な通信ネットワークや電子システムが構築されると、雷害の発生は社会的な影響が想像に絶する恐れがある。これらの電子機器を雷のサージから護るデバイス(避雷器)を製作しているのが音羽電機工業である。避雷器の重要な部品は不導体から導体に瞬時に変化をする酸化亜鉛と言われ、松下電器産業(現パナソニック)の研究の副産物として開発された物質であるが、独自の技術で避雷用に適した高性能・高品質な酸化亜鉛を供給している。</p> <p>グループ会社の長谷川電機工業(株)からは、低電圧・高電圧の検電器の説明を受けた。</p> <p>最後に、当センター内に併設されている雷ミュージアムで、雷対策製品、雷写真コンテスト受賞作品、雷に関するグッズや書籍などの展示物を見学した。</p>



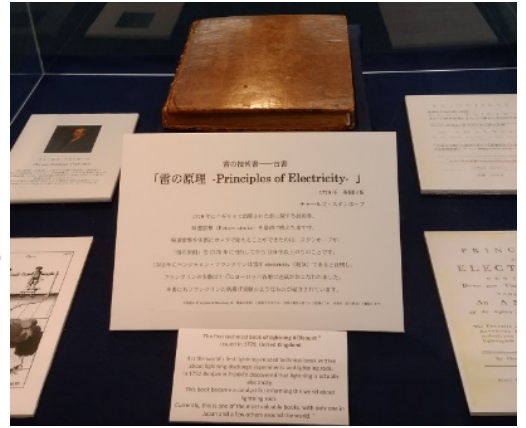
22 万 A インパルス電流発生装置



160 万 V インパルス電圧発生装置



各種避雷器



1779年発刊の
「雷の原理」



音羽電機工業(株)雷テクノロジーセンターで記念撮影